

夏のモンシロチョウ ～たまごからせい虫までのかんさつ記ろく～

八代市立宮地小学校 3年 西岡千さき

1 研究の動機

3年生になって、理科がはじまり、最初にモンシロチョウの成長を楽しく学んだ。そして、モンシロチョウが、完全変態をする昆虫だと知った。夏休みを利用して、もう一度しっかりとモンシロチョウの成長の様子を調べてみることにした。

2 研究の方法と結果

モンシロチョウの卵をできるだけ集め、1個ずつ違うケースに入れて、成長の様子を記録する。また、毎日ケースを掃除して、えさのキャベツを取り替え、食べた葉とふんの量を調べる。それを観察記録ノートに詳しくまとめ、成長の様子を写真にとったり、スケッチをしたりする。卵をとった場所は千丁町のキャベツ畑。28個。7月19日の朝、ふ化した8匹に番号を付けて観察を開始した。ここでは、一番成長が早い4番をのせた。



スケッチ	幼虫やふんの様子
	幼虫1日目(7/19)長さ2mm。色は黄色。まだふんはしない。
	幼虫6日目(7/24)長さ1cm。色は緑と黄緑。ふんは、1mmで黄緑。80個。えさをたくさん食べている。ふんがとても多い。
	幼虫11日目(7/29)長さ1cm5mm。色は緑。ふんは2mmで薄い黄緑。140個。動かない。ふんは大きくなってきた。
	さなぎ直前15日目(8/2)長さ2cm。色は緑。ふんは2mmで濃い茶色。77個。ふしぶしが太くたくましい。動かない。
	さなぎ16日目(8/3)長さ1cm8mm。色は緑。ふんはしていない。朝見たら、さなぎになっていた。
	う化直前のさなぎ22日目(8/9)長さ1cm7mm。色は濃い茶色。羽が透けて見えている。
	う化・成虫23日目(8/10)さなぎになって8日目で成虫になった。成虫一番のりでうれしかった。

3 研究のまとめと感想

モンシロチョウの成長の様子がよくわかるようになった。いつさなぎになり、何日で成虫になるのかおよそ予想できる。卵から8匹の幼虫を育てたが、蝶になって庭に放したときは本当にうれしくて、途中で死んでしまうととても悲しくなった。特に、体が小さく食事量が少ない幼虫は、家族みんなで応援した。青虫はかわいい顔をしていると思う。幼虫が糸を張ってさなぎになる様子、蝶がう化する様子をビデオにも録画できてよかった。卵の殻を食べる様子、幼虫の脱皮の様子、脱いだ皮を食べる様子も観察したい。夏はとんでいるモンシロチョウが少なく、卵を見つけるのに苦労した。幼虫のえさになる植物が育ちにくい季節だからだ。さらに、秋や冬のモンシロチョウも調べてみたい。